

平成27(2015)年度学部卒業生フォローアップ調査結果

〈調査概要〉

目的：寄せられた意見を今後の広島大学の教育・研究の改善に活かし、優れた人材育成に繋げていく。

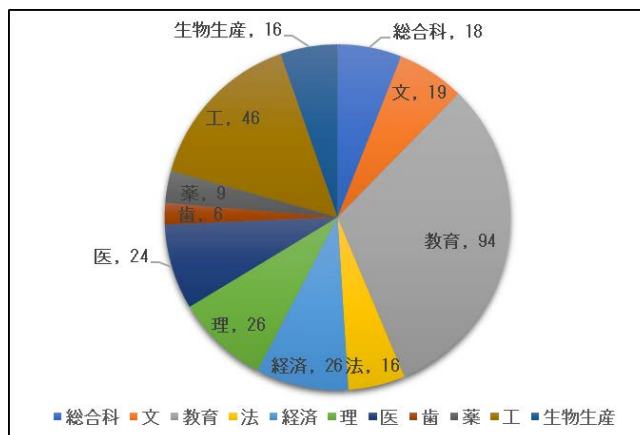
対象：平成27(2015)年度学部卒業生

方法：入学時の家族住所あて調査票を送付しWeb回答。

期間：令和3年12月28日～令和4年2月28日

状況：発送数2,424、未達数181、回収数300、有効数300、回収率13.37%（前年度回収率14.29%）

内訳：総合科学部18、文学部19、教育学部94、法学部16、経済学部26、理学部26、医学部24、歯学部6、薬学部9、工学部46、生物生産学部16、無回答0

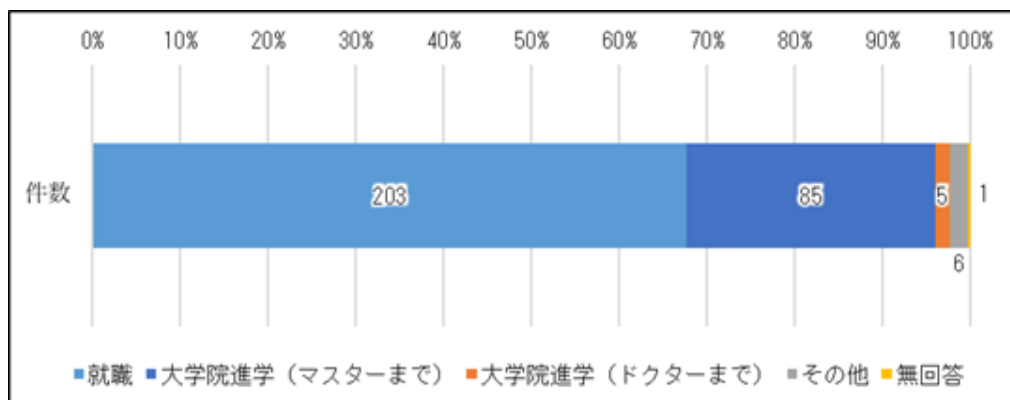


〈調査結果〉

【質問】4. 学部卒業後の進路

1. 就職, 2. 大学院進学（マスターまで）, 3. 大学院進学（ドクターまで）, 4. その他

【結果】



【質問】 5. 大学生生活全般の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

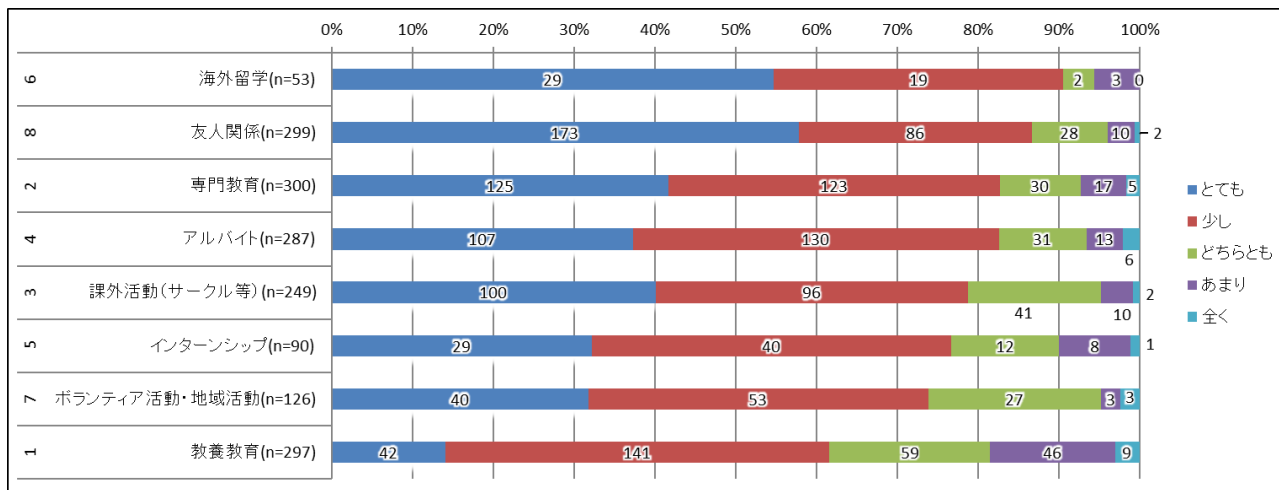
1. 教養教育, 2. 専門教育, 3. 課外活動（サークル等）, 4. アルバイト, 5. インターンシップ, 6. 海外留学, 7. ボランティア活動・地域活動, 8. 友人関係

【結果】（高評価の割合順）

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H27(2015)年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「6.海外留学」(90.6%)、2位「8.友人関係」(86.6%)、3位「2.専門教育」(82.7%)、4位「4.アルバイト」(82.6%)の順となった。

今回、記述の中で多く見られた内容は2位「8.友人関係」と4位「4.アルバイト」についてであった。大学生活の中で培われたコミュニケーション能力と、社会と接する経験が卒業後も活かされているようである。

同じ“経験”という意味で1位「6.海外留学」も、経験したことにより卒業後に社会に出て仕事に活かせたり視野を広く持てたりと言った記述がみられた。

全体的に大学での様々な経験は、卒業生の糧となっており思考力・コミュニケーション力・語学力などが社会で活躍する手助けとなっているようだ。

(6. 学士課程教育について)

【質問】(1) 教養教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

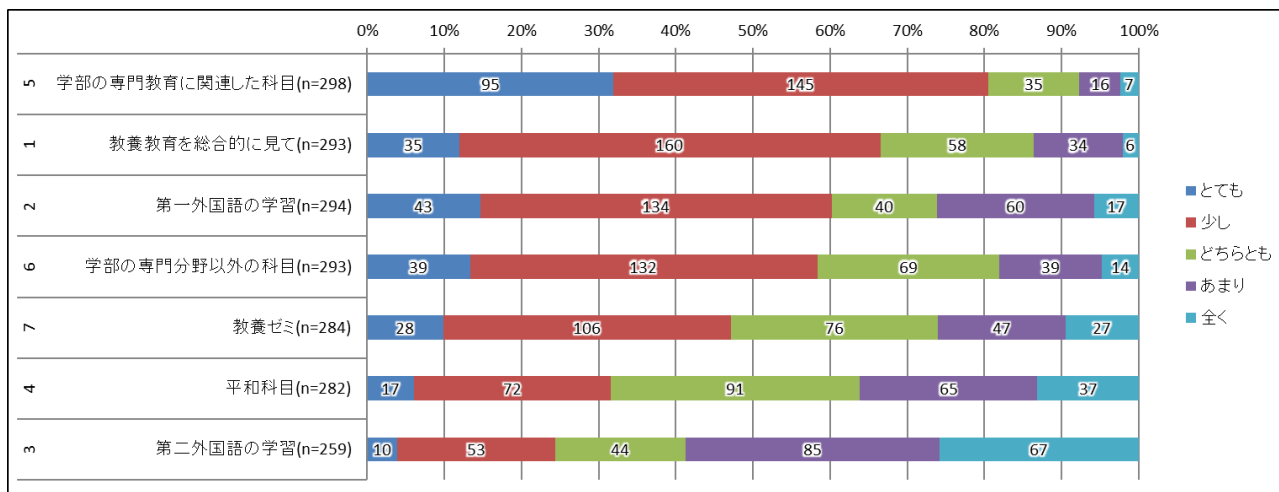
1. 教養教育を総合的に見て, 2. 第一外国語の学習, 3. 第二外国語の学習, 4. 平和科目, 5. 学部の専門教育に関連した科目, 6. 学部の専門分野以外の科目, 7. 教養ゼミ

【結果】(高評価の割合順)

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H27(2015)年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「5.学部の専門教育に関連した科目」(80.5%)、2位「1.教養教育を総合的に見て」(66.6%)、3位「2.第一外国語の学習」(60.2%)、4位「6.学部の専門分野以外の科目」(58.4%)という順になった。

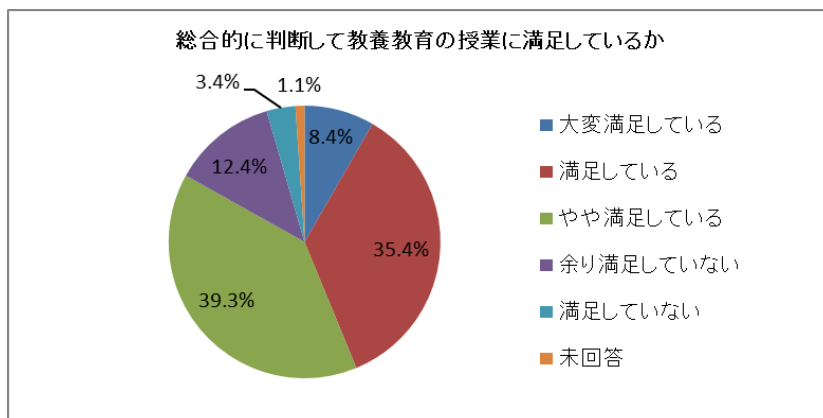
今回の記述で多く見られたのは「外国語が役に立った」や「専門教育以外ももっと学んでおけばよかった」というような内容だった。現代の社会では外国語に触れる機会が相当増えていると思われ、社会に出て外国語が理解できるという事は大きなアドバンテージとなるようなので勤めている卒業生が多いようだ。

また専門教育以外の教養を身につけるという事は、専門分野への就職前に視野を広く持つことができるからであるようだ。逆に教養教育が活かせていないという記述も見られたが専門教育も進む先によっては活かせない事もある為、そうなった時に選択肢があるという事は強みになっているようである。

更にOfficeソフトである「Word」や「Excel」の知識を身につけておいた方が役立つという意見も散見された。社会では「Word」や「Excel」を扱う機会が非常に多い為、「学ぶ機会があれば良かった」と思う卒業生もいるようだ。

【参考】平成27(2015)年度卒業時アンケート結果『設問：総合的に判断して教養教育の授業に満足しているか』

(「大変満足している・満足している・やや満足している」の割合 84.0% (1234/1469名※未回答除く))



(6. 学士課程教育について)

【質問】(2) 専門教育の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

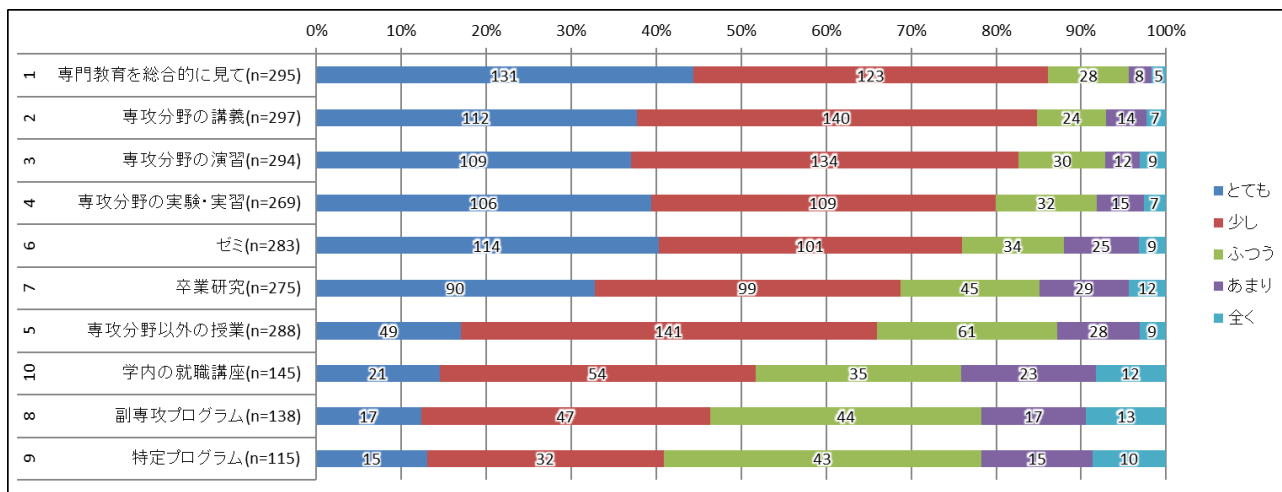
1. 専門教育を総合的に見て, 2. 専攻分野の講義, 3. 専攻分野の演習, 4. 専攻分野の実験・実習, 5. 専攻分野以外の授業, 6. ゼミ, 7. 卒業研究, 8. 副専攻プログラム, 9. 特定プログラム, 10. 学内の就職講座

【結果】(高評価の割合順)

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H27(2015)年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「1. 専門教育を総合的に見て」(86.1%)、2位「2. 専攻分野の講義」(83.0%)、3位「3. 専攻分野の演習」(82.7%)、4位「4. 専攻分野の実験・実習」(79.9%)の順となった。

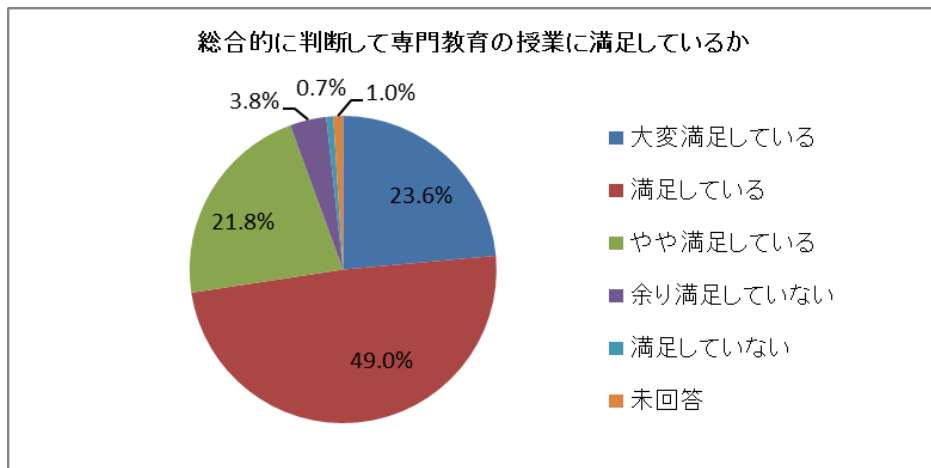
今回の記述では総合的に大学で学んだ事が、そのまま就職先などでそのまま活かされているという意見が目立った。それをベースにより深く役立てている卒業生もいるようだ。

また専門・専攻を学んだ事で、その分野に進む決意が固まったという意見もあった。

ただその一方で、大学時代には表面的な事しか理解ができず社会人になって「もっと真剣に・もっと詳しく深く学んでおけば良かった」との意見も見られた。

【参考】平成27(2015)年度卒業時アンケート結果『設問：総合的に判断して専門教育の授業に満足しているか』

(「大変満足している・満足している・やや満足している」の割合 95.4% (1402/1470名※未回答除く))



(7. 学生支援について)

【質問】 学生対応・支援で下の項目はどの程度、充実していましたか？

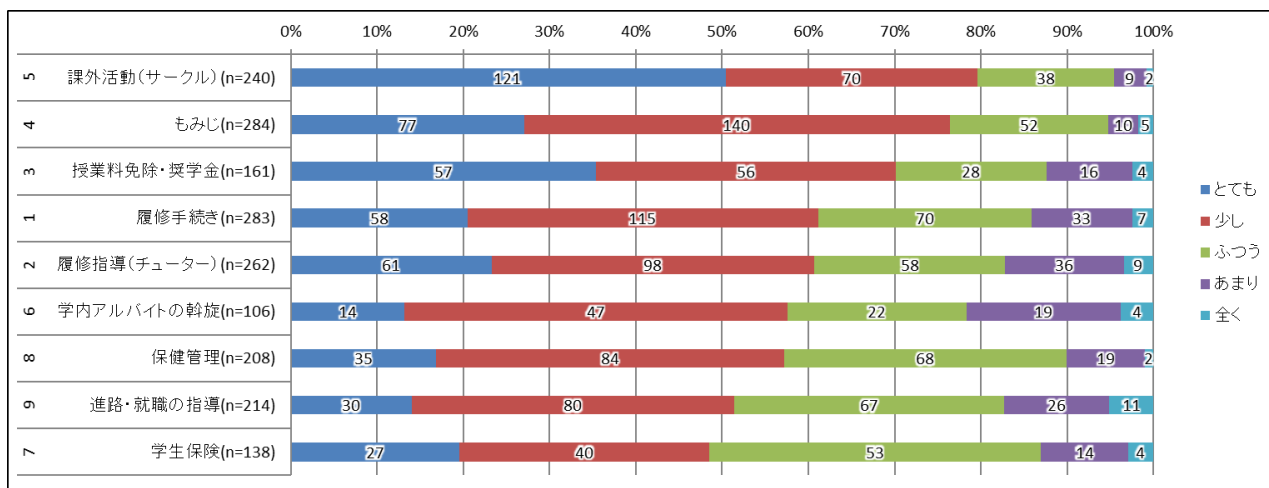
1. 履修手続き, 2. 履修指導 (チューター), 3. 授業料免除・奨学金, 4. もみじ, 5. 課外活動 (サークル), 6. 学内アルバイトの斡旋, 7. 学生保険, 8. 保健管理, 9. 進路・就職の指導

【結果】 (高評価の割合順)

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H27(2015)年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「5. 課外活動 (サークル)」(79.6%)、2位「4. もみじ」(76.4%)、3位「3. 授業料免除・奨学金」(70.2%)、4位「1. 履修手続き」(61.1%) という順となった。

今回の記述の中で1位「5. 課外活動 (サークル)」については殆ど無かったが、サークルの先輩から教えてもらうなど支援をしてもらったという内容がみられたので、生徒が孤立せず相談できる文化がある結果が表れていると推察できる。

2位「4. もみじ」も同様、画面の見づらさや情報の更新について触れられる事はあったが、特別役立ったとか助かったという内容は無かった。恐らく大多数が不満なく使えていた為と推察される。

3位「3. 授業料免除・奨学金」、4位「1. 履修手続き」については、かなりの意見があった。ほとんどが「事務によるサポートで助かった」というような主旨で記述されていた。中には上手く活用できず不満に思っている卒業生もいるが、総合的には教員や支援室の対応に満足しているようである。

(8. 学生生活について)

【質問】(1) 下のような各項目は、学生時代のあなたにどの程度あてはまりますか？

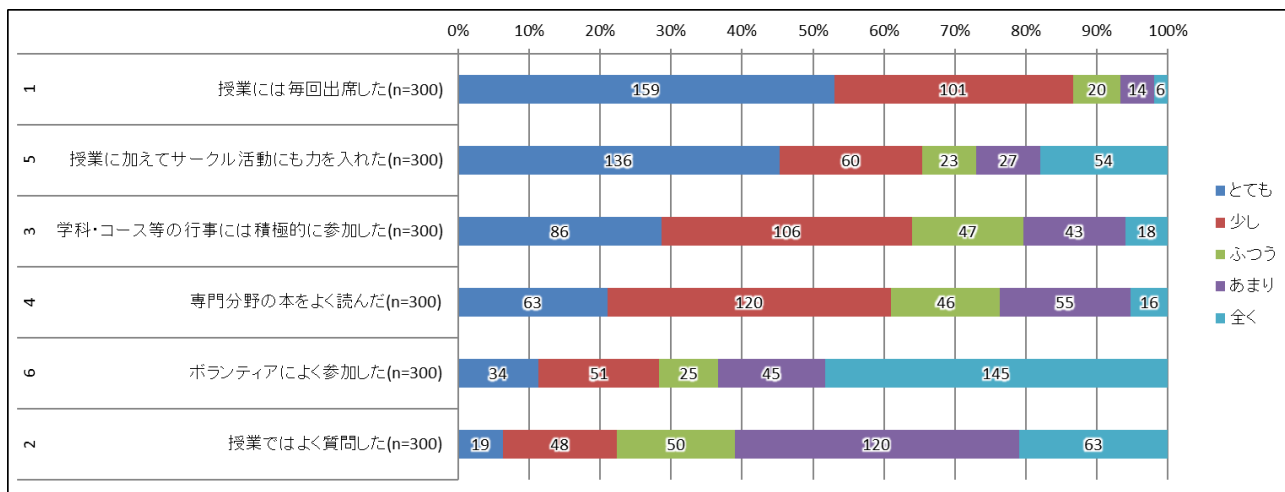
1. 授業には毎回出席した, 2. 授業ではよく質問した, 3. 学科・コース等の行事には積極的に参加した, 4. 専門分野の本をよく読んだ, 5. 授業に加えてサークル活動にも力を入れた, 6. ボランティアによく参加した

【結果】(高評価の割合順)

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H27(2015)年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「1. 授業には毎回出席した」(86.7%)、2位「5. 授業に加えてサークル活動にも力を入れた」(65.3%)、3位「3. 学科・コース等の行事には積極的に参加した」(64.0%)、4位「4. 専門分野の本をよく読んだ」(61.0%)という順となった。

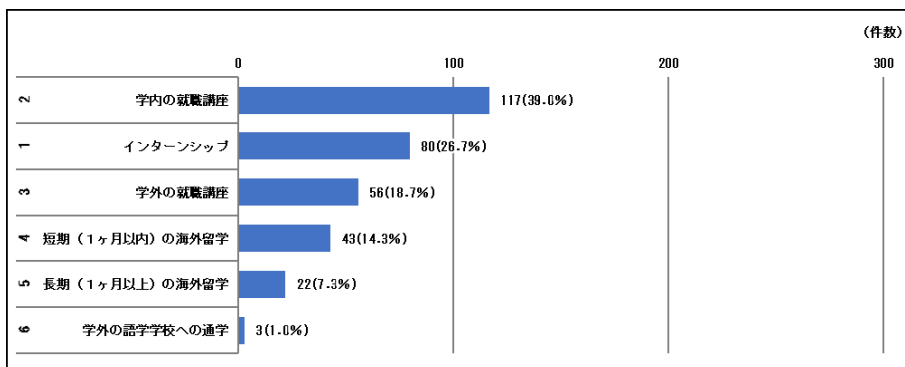
今回の記述では、総合的に1位「1. 授業には毎回出席した」、2位「5. 授業に加えてサークル活動にも力を入れた」という結果からも充実した学生生活を過ごしたというような内容が多く見られた。ただ、住んでいる場所により制限を受けていた卒業生もいた様で、移動に時間がかかる為に人づきあいを最小限にして学生生活を過ごしたという記述もあった。

しかし、多くの学生がそれぞれの学部特有の行事や履修以外にも積極的に活動をしていたようで、高評価上位ではないものの災害のボランティアや留学、サークルなど学生の時だからこそ使える時間を有意義に使っていたようだ。

(8. 学生生活について)

【質問】(2) あなたは次のような活動に参加しましたか。該当するものすべてに○をつけてください。

【結果】(該当数の多い順)



（8. 学生生活について）

【質問】（3）あなたが現在の学生にアドバイスするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

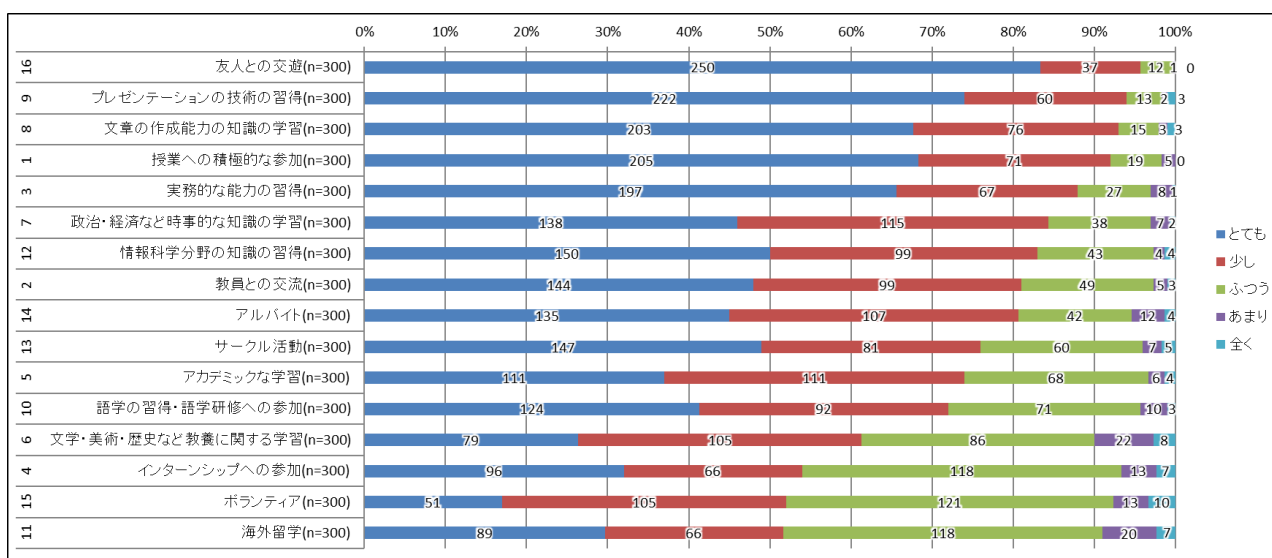
1. 授業への積極的な参加, 2. 教員との交流, 3. 実務的な能力の習得, 4. インターンシップへの参加, 5. アカデミックな学習, 6. 文学・美術・歴史など教養に関する学習, 7. 政治・経済などの時事的な知識の学習, 8. 文章の作成能力の知識の学習, 9. プレゼンテーションの技術の習得, 10. 語学の習得・語学研修への参加, 11. 海外留学, 12. 情報科学分野の知識の習得, 13. サークル活動, 14. アルバイト, 15. ボランティア, 16. 友人との交遊

【結果】（高評価の割合順）

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H27(2015)年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「16. 友人との交遊」(95.7%)、2位「9. プレゼンテーションの技術の習得」(94.0%)、3位「8. 文章の作成能力の知識の学習」(93.0%)、4位「1. 授業への積極的な参加」(92.0%)という順となった。

今回の記述の中で、1位「16. 友人との交遊」について多くの卒業生が様々な面で大切だという意見だった。学業も大切だが、それ以上に色々な経験を共有できる友人がいる事は、社会に出ても大きな支えになっているようだ。

2位「9. プレゼンテーションの技術の習得」、3位「8. 文章の作成能力の知識の学習」については社会に出てから多くの人が必要と感じている、もしくは活かしていると思われる為、「習得した方が良い」という意見が多かった。

4位「1. 授業への積極的な参加」については、学生生活の軸を学業としていた卒業生が多かったようだ。その上で時間に余裕がある学生の時に様々な体験を推奨しており、バランスの取れた生活を送った人は充実した学生生活を送ったようだ。一方で、アルバイトやサークル活動にウエイトを置いた人は、学業や留学など学生でないと実行しにくい体験が疎かになり後悔している意見が散見された。

しかし、全体を通して学生の間にはしかできない活動が現在に活かされており、学生生活が充実したものだったと振り返っている意見が多かった。